

2014 年度 債権総論 1 定期試験問題

2014 年 7 月 22 日

明治学院大学法学部教授 加賀山 茂

問題 1

債権の目的と目的物の違いについては、2004～2005 年にかけて行われた民法の現代語化によって、債権の目的と債権の目的物との混同を解消するために、3 箇所では修正が行われた。

第 1 に、現代語化以前の旧条文 402 条 2 項においては、「債権ノ目的タル特種ノ通貨」というように、目的物とすべきところが目的とされていたため、「債権の目的物である特定の種類の通貨」と修正された。

第 2 に、旧条文 419 条 1 項においては、「金銭ヲ目的トスル債務ノ不履行」というように、目的物とすべきところが目的とされていたため、民法 402 条 1 項と同様にして、「金銭を目的物とする債務の不履行」と修正することも可能であったが、後に続く「債務の不履行」との関係性を考慮して、金銭の後に「給付」を補って、「金銭の給付を目的とする債務の不履行」と修正された。

第 3 に、旧条文 422 条においては、「債権者カ損害賠償トシテ其債権ノ目的タル物又ハ権利ノ価額ノ全部ヲ受ケタルトキハ」というように、債権の目的物に該当するものの中に無体物である権利が含まれているため、目的物とすべきところを、あえて目的としていた。そこで、現代語化においては、目的を維持したまま、ずっと後に「支払」を補い、「債権者が、損害賠償として、その債権の目的である物又は権利の価額の全部の支払を受けたときは」と修正された。

第 1 と第 2 の修正は意味のある修正である。しかし、第 3 の修正は、債権の目的を「物又は権利」からその「支払」へと変更することで、成功した修正のように見えるが、内容的には、民法 422 条を意味不明のものとするという重大な問題を生じさせている。

この点を明らかにするために、先ず、現行民法の起草者、すなわち、旧条文の起草者の立場を A とし、現代語化を行った立法者の立場を B とし、それぞれの言い分を推理し、議論を戦わせることを通じて、現代語化された民法 422 条の問題点を明らかにしなさい。それを踏まえて、民法 422 条について、自ら (C) の見解を述べ、形式的にも、内容的にも、立法の趣旨を実現することのできる改正案を提案しなさい。

問題 2

工場内の溜池に保管された漁網用タール 3,000～3,500 トンのうち、2,000 トンの売主と買主（漁業組合）売買契約が問題となったタール事件（最三判昭 30・10・18 民集 9 卷 11 号 1642 頁）について、最高裁、および、差戻後の高裁判決はどのような判断を下したのか。

最高裁、および、差戻後の高裁判決の判断について、以下の問に答えなさい。

(1) どのような場合に目的物が特定すると判断されたのか（民法 401 条 2 項参照）。

(2) 工場内の溜池に保管されたタールが第三者（工場の労働組合）によってすべて処分されてしまった場合、売主の引渡債務は、履行不能になると判断されたのか。

(3) タールを引き渡すまでの間、売主は、どのような注意義務を負うとされたのか。

(4) 以上の最高裁、および、差戻後の高裁の判断を踏まえた上で、そのような判断には、どのような問題点があるか、自らが最も重要な問題であると判断した 1 点に絞って、批判的に検討しなさい。

問題 3

Y（被保険者）が保有する自動車で交通事故を起こし、X（被害者）に障害を負わせた場合について、以下の問に答えなさい。

(1) Y（被保険者・加害者）は、X（被害者）に対して、損害賠償をする前に、自動車損害賠償保険契約を締結している Z（保険会社）から保険金を受け取ることができるか。条文上の根拠を挙げて説明しなさい。

(2) そのような場合、保険会社は、誰に保険金を支払うべきか、条文上の根拠を挙げて説明しなさい。

問題 4

X から Y₁, Y₂, Y₃ がそれぞれ、400 万円、300 万円、200 万円を借り受けて、それぞれが、連帯して 900 万円を弁済することを約した。

(1) X が Y₃ に対して連帯債務の半額を免除したとする。Y₁, Y₂, Y₃ は、X に対して、それぞれ、どのような債務を負担するか。

例：全額〇〇〇万円（負担部分〇〇〇万円、保証部分〇〇〇万円）という形式で答えなさい。

(2) その理由を IRAC の形式で記述しなさい。

I：半額免除に関する争点

R：半額免除に関するルール、および、学説または判例

A：どのルール、または、どの学説または判例を適用すべきかについての議論

C：結論

(3) Y₂ が免除後の連帯債務の全額を X に弁済したとする。この場合、Y₂ は、他の連帯債務者（Y₁, Y₃）に対して、いくら求償することができるか。